

ものづくりへの3Dプリンタ活用 問題解決と協業が拓く

Nagoya Musubu Tech Lab セミナー

製品試作だけでなく、3Dプリンタが幅広く活用される時代になりました。今回は3Dプリンタを活用し、他社と連携しながら独自の取り組みを行っている3社の講演とパネルディスカッションを行います。また、展示会＆名刺交換会もございます。ぜひ、新たな“結ぶ(Musubu)”を築いてください。

日時:2026年3月5日(木)
14:00～16:30

会場:名古屋市工業研究所
電子技術総合センター
(名古屋市熱田区六番3-4-41)
視聴覚室 & Nagoya Musubu Tech Lab

定員:50名
参加費:無料

●プログラム

1. 「それ、3Dプリンタができるの?」

から始まる課題解決事例

株式会社山一ハガネ 小林 祐太 氏

2. 自動車部品の廃材から未来をつくる

3Dプリンタ用フィラメント

「エンペラーフィラメント」

株式会社太田廣 吉田 健人 氏

3. インテリアブランド立上げに必要なこと

「ブランドづくり」「モノづくり」

株式会社前田技研 柴野 光輝 氏

パネルディスカッション

発表3社 & 山岡 充昌(名古屋市工業研究所・所長)

展示会 & 名刺交換会

プログラム

1.「それ、3Dプリンタができるの？」から始まる課題解決事例

小林 祐太(こばやし ゆうた)氏

14:05~14:25

株式会社山一ハガネ AM営業グループ ゼネラルマネージャー



自社開発3Dプリンタ「3Ix D」を核に、最適化設計～造形～塗装までワンストップで対応する山一ハガネの3Dプリンタ技術は、ここ数年で大きく飛躍しました。お客様の現場課題を起点とし、バーツフィーダー等の自動機分野やサイン&ディスプレイ分野で実績が拡大しており、当社技術だからこそ実現できた課題解決事例をご紹介します。

2.自動車部品の廃材から未来をつくる3Dプリンタ用フィラメント 「エンペラーフィラメント」

吉田 健人(よしだ けんと)氏

14:25~14:45

株式会社太田廣 営業部三課



自動車に多用されるガラス繊維強化熱可塑性樹脂(GFRTP)は90%以上が埋立て処理されており、再利用が喫緊の課題となっています。エンペラーフィラメントは従来困難とされたGFRTP廃材の線材化に成功し、マテリアルリサイクルされた高強度・高耐熱・成形収縮率が少ない3Dプリンタ用フィラメントです。

3.インテリアブランド立上げに必要なこと「ブランドづくり」「モノづくり」

柴野 光輝(しばの みつてる)氏

14:55~15:15

株式会社前田技研 3DP事業化PJTグループ



金属加工会社が新規事業として立上げた、3Dプリンタを用いたビジネス『インテリアブランド 孚美(FūūBi)』『3Dプリンタ造形依頼サービス』、ブランドとして立上げに必要な「ブランドづくり」「モノづくり」の観点で、立上げから販売までの「こと」をご紹介します。

パネルディスカッション 展示会 & 名刺交換会

15:20~15:50

16:00~16:30

申込方法

下記フォームよりお申し込みください。

https://www.nmiri.city.nagoya.jp/musubu_lab/event/124

こちらの二次元コードからでも入力フォームにつながります→



※ご記入いただいた個人情報は名古屋市工業研究所にて適切に保管し、主催者が実施する公的事業以外には使用いたしません。

《会員募集中》

Musubu Tech Labでは自社技術を活用して新事業に挑戦するものづくり企業を支援しております。

皆様のお役に立てるような様々な企画を検討し開催しておりますので、下記ホームページをご覧いただき、是非ともご登録のご検討を宜しくお願ひいたします。



Nagoya Musubu
Tech Lab

〒456-0058 愛知県名古屋市熱田区六番3-4-41 名古屋市工業研究所内
電話番号：052-654-9959 メールアドレス：musubu_lab@nmiri.city.nagoya.jp
ホームページ：http://www.nmiri.city.nagoya.jp/musubu_lab

